

戦略 1

地域産業の力を引き出す農業戦略

戦略の概要

持続可能な農業生産・農業経営の基盤を確立するとともに、農産物の魅力を高めて付加価値の高い農業への転換を図ります。更には、農業を核として、商業、工業、観光を相互に結びつけることにより、地域産業全体の活力を高めます。

戦略を実現するための事業

農業経営基盤強化事業〔重点〕

栄町の農家数、耕作面積は年々減少しており、特に近年では、農業従事者の高齢化により、後継者のいない農家では土地を手放さざるを得ない農家が増えることが懸念されます。後継者のいない農家の土地、耕作放棄地を集約するしくみをつくり、農業経営の大規模化、組織化を図ることにより、安定した農業経営基盤を確立して、意欲ある農業従事者の増加と農家のスムーズな世代交代を進めます。

農業の6次産業化推進事業〔重点〕

国内米消費の低迷や食糧自給率の向上をめざす国の農業政策を背景に、米粉が注目されています。また、農業の収益性を高めるためには、農産物を加工することで、付加価値をつけることが重要となります。地元食品企業との連携により、栄町の農産物を使った加工品等の製品を開発するとともに、加工所等の設備とその運営主体を設立し、農業の6次産業化を推進する環境を整備します。

ビジネス交流事業（栄農産物販売促進事業）〔関連〕

栄町の多くの農業従事者は、地元スーパーや飲食店などの商業者、地元食品加工業者等と交流する機会も少なく、限定的な販売ルートしかもっていないのが実情です。直売所の設置を検討し、特産品やブランド化した農産物の販売促進を図ります。また、異業種が交流できる場をつくるとともに、栄町の農産物をPRするタウンセールス活動を活発に行い、農産物の販路の拡大・多様化や地産地消を進めます。

付加価値の高い農産物ブランド化事業〔関連〕

米価の下落や国内米消費の低迷により、稲作中心の栄町の農業は、次第にその魅力を失ってきています。また、稲作以外では、栄町の特産品といえる農産物も少なく、転作の一環で作ってきた黒大豆も、生産量が少なく大きなビジネスにはつながりにくい状況にあります。付加価値の高い町独自のブランド農産物を創出するとともに、それをPRするタウンセールス活動を活発に行い、栄町の農産物ブランド化を推進します。

活性化プロジェクト名	農業経営基盤強化事業			【重点】	担当課	産業課
めざす成果	大規模化と組織化への転換が進み、効率的・安定的な農業経営がなされている。					
成果目標	成果指標名	単位	実績値 21年度	目標値 22年度 27年度		
	耕作放棄地の面積	ha	19	19	0	
	農業法人団体数	団体数	1	1	5以上	
展開シナリオ	<p>(展開シナリオ)</p> <p style="text-align: right;"> :他の活性化プロジェクトとの連携 </p>					
スケジュール	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	農業従事者意向調査					
	集約化の仕組み検討					
	農業関係者への説明・啓発					
	運営主体設立					
	農地の大規模・組織化					
主な業務活動	項目	内容				
	農業従事者意向調査	農地の大規模化、黒豆の作付け、農産物の加工化、後継者問題、農産物の生産変更等について意向を確認する				
	事例および関連情報の収集と仕組みの検討	栄町に適合する集約化、組織化の仕組みを検討し、仕組みのモデル候補を抽出する				
	町・地区代表者・農業関係者で集約化・組織化の仕組みの検討	関係者が集まり、事業の実施に向けた検討を開始する				
	農業関係者への説明・啓発	主役である農業従事者や農業関係者へ事業の説明・啓発を実施する				
	運営主体設立	4学区(布鎌・安食・北辺田・酒直)それぞれに対し1組織づつ設立する				
	農地の大規模化、組織化	農地の集約化により、ビジネス連携事業と連携した特産品を拡大する				

活性化プロジェクト名	農業の6次産業化推進事業		【重点】	担当課	産業課	
めざす成果	栄町の農産物による商品加工化が実現し、事業者が求める加工品を安定的に供給することで、町の農業が活性化している。					
成果目標	成果指標名	単位	実績値 21年度	目標値 22年度 27年度		
	新たな加工品数	件	0	0	3	
展開シナリオ	<p>(展開シナリオ)</p> <p style="text-align: right;">:他の活性化プロジェクトとの連携</p>					
スケジュール	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	加工品選定調査研究					
	米粉生産・加工委託					
	加工品研究開発プロジェクト					
	運営主体設立準備					
	農業関係者への説明・啓発					
加工所設置・管理運営						
主な業務活動	項目	内容				
	加工品選定調査研究（黒大豆加工含む）	栄町農産物の加工品等製品化に向けて、商工業者・消費者等による研究会を立ち上げ、産品候補の調査研究を開始する				
	米粉生産・加工委託	栄町特産物である米作を活用し、米粉の加工を委託する				
	加工品研究開発プロジェクト	栄町農産物の加工品等製品化に向けて企業等と研究開発を実施する				
	運営主体設立準備	法人化設立に向けた検討・準備を始める				
	関係主体調整と農業関係者への説明・啓発	運営主体と関係者の調整を図り、主役である農業従事者や農業関係者へ事業の説明・啓発を実施する				
加工所設置・管理運営業務	加工所を設置し、運営主体による加工所の管理運営を開始する					

活性化プロジェクト名	ビジネス交流事業(栄農産物販売促進事業) 【関連】		担当課	産業課		
めざす成果	自らが作った農作物を自ら販売・PRすることで、栄町産の農産物が各地の消費者から安心・安全な農産物として支持を受け、農家の安定的な経営が成り立っている。					
成果目標	成果指標名	単位	実績値 21年度	目標値		
	直売所、新規販売ルート売上高	千円	242,344	22年度	242,344	27年度
						360,000
展開シナリオ						
スケジュール	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	農業従事者意向調査	→				
	直売所の検証と販売法人の検討	→				
	黒大豆拡大支援	→				
	タウンセールス	→				
	運営主体設立準備	→				
			販売拠点再整備	→		
主な業務活動	項目	内容				
	農業従事者意向調査	農地の大規模化、黒豆の作付け、農産物の加工化、後継者問題、農産物の生産変更等について意向を確認する				
	直売所の検証及び農業販売法人の検討	直売所の検証を実施し、観光と連携した農業販売法人設立の検討及び経営形態を検討する				
	黒大豆拡大支援(連携)	特産品の拡大を町としても支援する				
	タウンセールスの手段、販売ルートの仕組み等の検討と実施(連携)	業種間の情報交換を活発化させ、相乗効果による新たなPR手法や販売ルートを検討しつつ、対外的な営業活動を実施する				
	運営主体設立準備(連携)	法人化設立などを検討する				
観光・農産物販売拠点再整備(直売所)	観光・商工業・農業の拠点について検証と再整備を図る					

活性化プロジェクト名	付加価値の高い農産物ブランド化推進事業		【関連】	担当課	産業課	
めざす成果	付加価値の高い町独自のブランド農産物が各地に出回り、生産者は安定的に農業経営が成り立っている。					
成果目標	成果指標名	単位	実績値 21年度	目標値 22年度 27年度		
	黒大豆作付け面積	ha	19	19	38	
展開シナリオ	<p>(展開シナリオ)</p> <p style="text-align: right;">:他の活性化プロジェクトとの連携</p>					
スケジュール	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	黒大豆拡大支援					
	タウンセールス					
	運営主体設立準備					
	販売拠点再整備					
主な業務活動	業務活動名		内容			
	黒大豆拡大支援(連携)		特産品の拡大を町としても支援する			
	タウンセールスの手段、販売ルートの仕組み等の検討と実施(連携)		町の特産品として、黒大豆関連を強く営業活動を実施する			
	運営主体設立準備(連携)		法人化設立など検討・準備			
	観光・農産物販売拠点再整備(直売所)		観光・商工業・農業の拠点について検証と再整備を図る			